



日本に伝染するのかな 大統領がくしゃみをするよ… 死刑について考えてみませんか

東京拘置所のそばで死刑について考える会 (そばの会)

東京都荒川区南千住1-59-6-302

<http://sobanokai.my.coccan.jp/>

四年前のことです。アメリカの大統領選挙で、ヒラリー・クリントンを制してドナルド・トランプが勝利したとき、これでアメリカの死刑廃止は遠のいたなあという嘆息の声も日本でも聞かれました。

☆☆☆

当時、アメリカでは死刑を廃止する州が着々と増えており、これでクリントンが初の女性大統領に就任したら連邦単位でも一気に死刑廃止への動きが加速すると思われるかもしれません。そして日本の政権与党は(残念ながら?)アメリカの政策や意向に何かと追随することが顕著ですから、それが日本にも波及しそうだと期待されていたのです。

☆☆☆

その頃、事情通の方から「アメリカの最高裁の判事は大統領が指名するんです。トランプはどんどん死刑賛成派の人選を行うでしょう」という説明を受けたのですが、案の定「保守派」の人選が進みました。現在有名な「リベラル派」だった女性判事の死去に伴う後任が、トランプ大統領の推す人に決まれば、最高裁判事の保守派とリベラル派の割合は6対3になり、保守派がかなり優位になってしまう状況です。

また、今年の7月、大統領選挙でトランプ劣勢と伝えられると、これまで控えられてきた連邦レベルでの死刑の執行がなされました。

死刑について考えてみませんか

7月14日の執行を報じた記事です。(東京)

新聞WEB「ニューヨーク赤川肇」

米司法省は14日、連邦レベルでは17年ぶりに死刑を執行した。11月の大統領選を前に「法と秩序」を訴えるトランプ政権にとって、その実践をアピールする狙いもありそうだ。……執行が当初予定されていた13日、連邦地裁は新たな使用薬剤が憲法で禁じられた「冷酷で非道な」処罰に当たるといった死刑囚側の訴えを認め、執行を差し止めた。しかし連邦最高裁が14日、5対4の多数意見で決定を覆し、即執行された。

死刑のような厳罰が凶悪犯罪を抑止すると信じる選挙民に向けた。パフォーマンスのようです。それは誰よりもトランプ大統領自身が信じていることなのでしょう。

☆☆☆

日本学術会議の新会員として推薦された105人の候補者のうち6人の任命を菅義偉首相が拒否しました。6人は、安全保障関連法や特定秘密保護法など政府が進めてきた政策に批判的な意見を述べてきた人たちと、いうことですが、異論に耳を傾けることができず、排除してしまうのでは「學術」の進歩も「会議」の意味もありません。

対立候補の話さえさげぎってエキセントリックに語り続けたトランプ大統領のテレビ討論会での姿が重なります。(J)